



自ら考え よく学ぶ 心豊かでたくましい子

輝け32の瞳

「感動いっぱい」の南志見小学校

輪島市立南志見小学校

学校だより 第3号

平成30年5月25日

文責：角間



一人一人の力が開花へ
学校全体が充実の6月に

子どもたち一人一人の夢の実現のために(感動のある授業を求めて)

先日、奥能登教育事務所より、指導主事の学校訪問がありました。この日は、全ての先生方の授業が公開となっており、中でも5年生は国語科の研究授業を行いました。チャイムと同時に、本校の自慢である大きな声のあいさつが、教室に響きました。手を挙げて良い声で意見を述べる姿もみられ、児童2人の姿がほほえましかったです。2人の周りには、指導課長や指導主事、教育長、学校教育課長、東陽中、町野小の校長先生や研究主任の先生方、本校の職員の計19人が囲み、授業の様子や児童がノートに書く様子をご覧になりました。そんな2人の姿から、小さい頃私が、このような場面で、先生に指名されて緊張し、声が出なくなり立ち尽くしてしまった情けない自分を思い出しました。2人はこのような緊張が張り詰める中でも、一生懸命考えをまとめて発表する姿に心が打たれました。本当によく頑張っていたと思います。

また、1・2年生の道徳の授業では、「電車の中でおぼさんの足を踏んでしまったときのぼくの心の揺れ動きを」1年生、2年生それぞれが、ぼくの気持ちになって考え発表しました。1年生も臆することなく、2年生に負けじと自分の考えを堂々と述べる姿に成長を感じました。6年生は、理科の物の燃え方の実験から、空気がどのように変化したかを考えました。はばたき学級は、総合的な学習の時間に楽しく苗植えをしました。かがやき学級は、時計の読み方を学習し、頑張っていました。



新学期がスタートして1ヶ月半が

立ちましたが、私たち職員はこの1年間を通して、子どもたちの目がキラキラ輝く、感動のある授業を追求し続けていきたいと心から感じております。少人数のよさを生かし、少人数だからこそできる授業。そして児童が主体的に取り組める授業を求めていきたいという気持ちで一杯です。一人一人が自分の夢を実現させることができるように、確かな学力を身に付け、自分の考えを、しっかり表現できる児童を育成していくよう、職員一同一丸となって取り組んでいきます。

学校長 角間 久美子



6月学校行事等予定

日	曜	内容等	日	曜	内容等
1	金	街頭指導	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	避難訓練（不審者対応） 祭り囃子クラブ②
4	月	児童集会 南志見タイム③	19	火	
5	火	学校公開・授業参観・1年親子給食 親子ソフトボール大会・教育懇話会	20	水	プール掃除 予備日
6	水		21	木	鶴田くに文庫の_____さん来校
7	木	校医検診（13:20～）	22	金	プール開き
8	金	巡回図書	23	土	土曜授業③ AED研修会（PTA研修委員会）11:00
9	土	市ちびっこオリンピック5・6年	24	日	フラワーロード花壇の花苗植栽 8:00 クリーンアップ（海岸清掃）
10	日		25	月	委員会
11	月		26	火	
12	火	市陸上競技大会6年生 お弁当持参	27	水	
13	水	市陸上競技大会（予備日）	28	木	
14	木	歯科検診 10:00	29	金	
15	金	街頭指導 安全点検 プール掃除	30	土	

県民みどりの祭典 緑の少年団 緑豊かな環境を守り隊!!

去る4月29日（日）、津幡の森林公園で行われた「みどりの祭典」に6年生が南志見小学校「緑の少年団」として団旗を掲げ出席しました。「緑の少年団」は、緑化運動を支える森林づくりの推進を目的に結成されています。この日は、活動の発表を聞いた後、森林オリエンテーリングや木の工作、森と木のゲーム大会などを通して木々とのふれあいを楽しみました。今後秋には、ブロック交流会があり、輪島地区で広葉樹を植樹したり、木工作などを行ったりして緑の環境づくりに貢献していきます。



交通安全教室

大切な命を危険から守ろう



去る4月27日（金）に、交通安全教室を開き、南志見支署、曾々木支署のおまわりさんから、自分の命を守るために、交通ルールを学びました。普段なれている道であっても、連休中は車の出入りが多くなり、多くの危険が潜んでいます。そこで改めて道路の安全確認の仕方、横断の仕方、歩道の歩き方、曲がり角での注意を学び、正しい歩行の仕方を身に付けるため、実際に、南志見の町の中や川の辺りや海岸線など、注意を守って歩きました。地域の交通安全協会や交通推進隊の方が曲がり角に立ってご指導して下さったおかげで、危険もなく、りりしい態度で歩くことができました。

教室で学んだことが徹底できるよう、ご家庭や地域でも気をつけて見ていただき、善し悪しの声かけをしていただけると助かります。今後もよろしくお願い致します。ご協力下さいました交通安全協会長の _____さん、交通推進隊の _____さん、ありがとうございました。



千枚田田植え 風三毛寒サ三毛負ケズ! 元気一杯!!

5月10日(木)、南志見小学校の伝統行事である「千枚田の田植え」を、愛耕会の 〇〇さんのご指導の下、全校児童で行いました。田植えは、当日の朝は雨天でしたが、時間の経過と共に天気が回復する見通しでしたので決行しました。曇り空で、寒い日でしたが、その寒さにも負けず、児童たちは元気いっぱい、大きな声で「よろしくお願ひします」と、田植えができることをとても楽しみにして



していました。田植えは、日本古来の伝統的な手法で、素足で行います。田んぼに足を入れると大変冷たかったのですが、植えていると寒さを忘れて楽しくなりました。愛耕会の

〇〇さん、公民館長 〇〇さん、

〇〇さんのご指導

のおかげで、歩き方や苗の植え方など大変スムーズに行い、こつをつかんだ児童たちは、表情豊かに率先して植えていました。「もっとやりたい」という声も上がるくらい大変有意義な体験をすることができました。このような取組を通して、育てる喜びや、働く喜び、地域の方々との触れ合い、地域の良さ、自然の素晴らしさなどを学べる環境が充実していることをうれしく思います。このあと、苗が順調に成長するのを楽しみに待ちたいと思います。 **うれしい、おいしい心のこもった贈り物!!**



学校に帰ると、〇〇先生が、児童に「朴葉飯」を作って持ってきてくださいました。できたての朴葉飯は温かく、良い香りを放ちお腹のすいた児童には何とも言えないくらいに嬉しいサプライズとなりました。そのときの子どもたちの瞳の輝きは忘れられません。〇〇先生から朴葉飯の由来を教えていただき、児童はお礼として校歌を体育館に響く元気な声で歌いました。給食と共に朴葉飯が出されたのですが、児童たちは給食を食べた後であってもぺろりと朴葉飯を食べていました。本当においしかったです。朴葉が雹でやられて大変苦労されたことを知り、改めて感謝の気持ちで一杯です。心よりお礼申し上げます。



ヤマメの放流

ヤマメ千匹! 小田屋川・南志見川に育て!!



5月16日(水)、南志見小PTAの協力の下、今年度も小田屋川上流にヤマメの放流を行うことができました。当日は朝から前PTA会長の 〇〇さんが、加賀市山中の水産センターから買い付け運んでくださいました。ヤマメの数は千匹。PTA会長の 〇〇さんの説明と指導を受け、児童たちは川に入って、そっと小さいヤマメを放しました。ヤマメが育つ川は、それだけ水が澄んで美しいことの現れだと言われています。前PTA会長 〇〇さんが、

この取り組みを始め、南志見小学校PTA行事として定着して5年目となりました。今後もこの行事は引き継いでいきます。児童が、小さな命をかわいく大切に思い、「大きく育てね」と声をかける姿を見て、優しく素直な心の成長を感じました。



